



ゆいぐみだより

2019年11月
尚徳福祉会 馬橋保育園



楽しかった運動会が終わり、心も身体も一回り成長した子どもたち。今では「ラッセラー、ラッセラー」と荒馬踊りのかけ声をしたり、「竹馬の練習はいつから始めるの?」と尋ねたり、気分は早くも、来年の運動会に向かっていきます。また、ハロウィン衣装やカボチャクッキー作り、そして遠足を2倍楽しむための工作などにも取り組み、「きょうは楽しかったね」「明日も楽しみだね」と言い合う姿が、さらに増えてきているようです。

今月は新しい散歩先にも足を延ばしながら、秋の深まりを感じたり発見したり、それらを表現活動にも取り入れたりする予定です。そして寒さに負けずにみんなで鬼ごっこやサッカー遊びをしながら、【風邪に負けない丈夫なゆい組】を目指していきたいと思います。

今月のわらい

- 季節の変化に応じて、健康に過ごすために必要な生活の仕方を身につける。
- 友だちと一緒にルールのある遊びを楽しみ、ルールを守る大切さや面白さを知る。
- 自分で工夫し友だちの刺激も受けて、秋の自然物を取り入れた制作を楽しむ。

お知らせとお願い

- ★戸外遊び用の上着（フードなしのもの）をご用意ください。
- ★長袖シャツを補充するなど、保育室内の衣類カゴの点検をお願いします。
- ★活動や散歩の予定もありますので、9時半までの登園のご協力をお願いします。



「みんなでいっしょに、かっこよくとべるかな?」

大縄跳びブームがまだまだ続くゆい組さん。「中学生は20人くらいで大縄跳びするのよ」と話すと、「じゃあ私たちも練習する!」と言い出しました。2人跳びや3人跳びに成功すると、「ヤッター!! じゃあ跳ぶ人をもっと増やそうよ」と、いきなり6、7人の子どもたちが大縄の中にワァーッと集まりました。成功はしませんでした、そんなやる気いっぱいの子もたちに拍手です。また一人縄跳びを始める子も増えてきて、10回以上跳んだり、目をつぶって跳んだり、後ろ回しで跳んだり、様々な工夫を始めました。これからの季節、大縄や縄跳び人気はさらに加速しそうです。

「きょうたのしかったことを、はなしまーす」

夕方の会が定着してきました。おやつが終わると自分の椅子を運び、円陣型に置いて座ります。「きょう楽しかったこと」を一人一人が発表し合うと、「僕もそれが楽しかった!」と同意したり、自分が知らない遊びをしていた友だちに気付いたり、様々な発見があります。中には「ちょっと言いたいことがあります」「折り紙は大切に使ったほうがいいと思います」と問題提起してくれる子もいて、周りの友だちはシーンと聞いています。会が終わると椅子を元通りに戻して元気いっぱいに

園庭へ。毎日自分の思いを発表したり、友だちの意見に耳を傾けたりする経験を積み重ねながら、言葉で伝え合う楽しさを知り、クラスがさらにまとまっていくゆい組さんです。

